国際ロータリー第2680地区
第７回　戦略計画委員会　議事録

開催日時　：２０２３年1月２７日（金）１６：００～１８：００
開催場所　：貸会議室レンタルスペースジェム神戸元町
出席者　　：阪上栄樹ガバナー（宝塚）、矢坂誠徳ガバナーノミニー（神戸西）、
城守ガバナーノミニー・デジグネート（姫路）、古川彰治代表幹事（宝塚）、
髙瀬英夫委員長（西脇）、矢野宗司副委員長（加古川中央）、
神谷誠治（尼崎中）、天羽公夫（甲子園）、竹原善記（宝塚）、
山本裕計（神戸東）、和田孫博（神戸東灘）、今田学志（神戸西神）、
前川忠範（加古川中央）、阪本渚子（神戸須磨 RAC）
議事録作成人：阪本渚子（神戸須磨 RAC）

次第

１．開会挨拶　　阪上ガバナー

２．ガバナーノミニー・デジグネート挨拶　　城　ガバナーノミニー・デジグネート

３．第二期地区ビジョン・戦略計画について（矢野副委員長）
前回の意見交換に基づき最終案の審議を行った。

・地区ビジョンは、前回の素案通り。
・戦略計画については前回の意見交換をもとに、以下のように変更し、
意見交換を行った。

「１．より大きなインパクトをもたらす」の項目で、「ロータリーのブランドとイメージを強化する」を「ロータリーのブランドと公共イメージの向上に努める」に変更。

「２．参加者の基盤を広げる」の項目では、「クラブの会員組織強化計画を作り、仲間を増やす」を「クラブの会員組織強化に努め、仲間を増やす」に変更。また、「地区やクラブが実施する行事やセミナーに積極的に参加し、ロータリーの理解を深める」を「地区やクラブが実施する行事やセミナーに積極的に参加し、ロータリーの感動的な体験を積み重ね、ロータリーの理解を深める」に変更。

「４．適応力を高める」の項目では、「バーチャル技術の能力を高め、社会の変化に迅速に適応する」を「オンライン技術の能力を高め、社会の変化に迅速に対応する」に変更。

（和田）数値目標が押しつけにならないようにする。
（今田）ガバナー月信に掲載するなどをして、地区からクラブ会員に浸透させていく必要がある。
（山本）「オンライン技術」の方が自然でよい。
（城）「ロータリーの感動的な体験」というのは、どのようないきさつで入れたのか。
（竹原）何をするにしても感動的な体験がないと心に残らないため、またその感動体験を語り合えればと思い提案した。
（矢野）ロータリーという言葉が続くため、「ロータリーの感動的な」の「ロータリーの」をとってはどうか。
（城）ロータリーに入っていてよかったと思う人と思わない人の違いは帰属意識でだと思う。帰属意識のことがどこかに入っていればよい。
（矢野）入会3年未満の会員には感動体験が少ないことには危機感を持つべき。
（矢坂）クラブ管理運営委員会の立場から言えば、クラブ会員は自クラブに居心地のよさを感じている。危機感を持っているクラブが増えているのは、自クラブを継続させたいと思っているから。
（今田）グループの中でリーダー的なクラブを作れば、グループ全体が盛り上がる。
（城）数値目標の「ポリオ基金」という言葉は正しいのか。1名あたり40ドルについて、現状何ドル寄付しているのか把握していない会員が多い。
→地区からの寄付は、個人の実績に上乗せされない。
（矢野）数値目標の40ドルは、地区全体の寄付金を会員数で割った数値。ポリオ基金の名称は念のため確認をしておく。その後、最終案として地区運営会議に提出する。

【結論】
・「ロータリーの感動的な体験を積み重ね」を
「感動的な体験を積み重ね」に変更する。
・「ポリオ基金」の名称が正しいかを確認する。
・本日の最終案で、2月9日の地区運営会議へ提出する。

４．最終案の取り扱いについて（髙瀬委員長）
２月９日の地区運営会議にて審議願い、
（２月２４日のガバナー諮問委員会に報告）
３月５日の地区大会決議案として上程のうえ、決議頂く事とする。

５．年度後半の委員会の進め方について（髙瀬委員長）
① 地区ビジョンをどのように各クラブへ浸透させていくかを、
今後の委員会で話し合っていく。

（天羽）　出前卓話をしてはどうか。

（今田）　前会長、現会長、次期会長に対しての指導者研修をしてはどうか。

→地区研修・協議会や PETS で出来るか、安行ガバナーエレクトと丸尾地区研修リーダーに確認。

（髙瀬）　クラブ管理運営など他の委員会とも協力をして浸透を図る。

（山本）　地区ビジョンを説明する短いムービーを作ってはどうか。

→ 5分バージョンと30分バージョンを作り、各クラブの例会で使う。
年度の RI 会長方針と、ガバナー方針も最初に入れる。

→ 地区で作成し、地区のリソースとして保管する。

→ ムービー編集は山本会員の会社でも出来る。西宮恵美寿ロータリークラブに映画をプロデュースしている会員がいる。

→ ガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニーには登場してもらう。

→ 次回の委員会では普及のためのツールとして、ムービーについてをメインテーマとする。

【結論】

・新しい地区ビジョンをどのように地区へ浸透させていくかを、今後の委員会のテーマとする。

・次回の委員会では、ムービーの作成をメインテーマとする。

②委員会の開催方法

（髙瀬）矢坂会員のお寺で座禅体験をやってみる。

（矢坂）非日常な体験をしたい場合は、色々な宗派の寺院を紹介することは可能。

（髙瀬）委員会を灘高校で開催できないか。

（和田）生徒がいないときであれば大丈夫。嘉納治五郎についての話など。

（髙瀬）神戸だけでなく、委員の地元で開催（立候補ください）

6．その他

・竹原委員より地区大会進捗報告と多数の参加呼びかけ

・次回委員会は2023年2月28日（火）（場所未定）

7．閉会挨拶　　矢坂ガバナーノミニー

以上